

近代英語協会ニューズレター

2004 年（平成 16 年）12 月 20 日

1 近代英語協会第 22 回大会について

第 22 回大会は 2005 年 5 月 20 日（金）に千葉大学・西千葉キャンパス（千葉県千葉市）において開催されます。シンポジウムは馬場彰東京外国語大学教授に司会をして頂く予定です。個人研究発表の締め切りは 1 月 31 日となっております。発表をご希望の方は、300 字程度の要旨に氏名・略歴・所属・職位・連絡先（住所、電話番号、e-mail アドレス）を添えてお申し込み下さい。

2 『近代英語研究』第 21 号の発行について

5 編の論文、2 編の研究ノート、3 編の書評の応募がありました。審査の結果、3 編の論文、2 編の研究ノート、3 編の書評が掲載可、2 編の論文が再審査となりました。5 月の発行を目指して、現在編集作業を進めております。第 22 号(2006 年 5 月発行)の投稿締め切りは 2005 年 9 月 15 日（木）となっております。

3 第 12 回新人賞について

今回は 1 編の応募がありました。応募時に 37 歳以下の会員ならどなたでも応募でき、匿名で審査されます。どうか奮ってご応募ください。来年度も一般投稿と同じ 9 月 15 日（木）を締め切り日として新人賞の応募をいたします。

4 『近代英語研究』の書式改定について

編集委員会にて論文などの参考文献書式改定が決定されました。裏面の「参考文献書式見本」をご覧ください。第 22 号に投稿される方はこちらを遵守下さいますようお願い致します。さらに詳しい見本はホームページに載せる予定です。こちらを併せてご覧下さい。

近代英語協会事務局

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町 16-1

関西外国語大学 豊田昌倫研究室内

（電話: 072-805-2801(代); FAX: 072-805-2866(代); 振替口座 00810-9-5821)

（近代英語協会の HP: <http://www.kansaignidai.ac.jp/teachers/toyota/index.html>）

『近代英語研究』 参考文献書式見本

- Araki, Kazuo and Masatomo Ukaji (1984) *Eigo-shi III A [History of English III A]* (Outline of English Linguistics, Vol. 10), Taishukan, Tokyo.
- Blake, Norman F. (2002) *A Grammar of Shakespeare's Language*, Palgrave, New York.
- Denison, David (1998) "Syntax," in Suzanne Romaine, ed., *The Cambridge History of the English Language*, Vol. IV, 1776-1997, Cambridge University Press, Cambridge, 92-329.
- Hopper, Paul J. and Elizabeth C. Traugott (2003² [1993]) *Grammaticalization*, Cambridge University Press, Cambridge.
- Huddleston, Rodney and Geoffrey K. Pullum (2002) *The Cambridge Grammar of the English Language*, Cambridge University Press, Cambridge.
- Lombardi, Linda (2002) "Coronal Epenthesis and Markedness," *Phonology* 19, 219-251.
- Mair, Christian (2004) "Drift, Convergence, and Divergence: Corpus-based Approaches to Grammatical Changes in 20th-century English," Paper presented at the 13th International Conference on English Historical Linguistics, Vienna, August 2004.
- Pintzuk, Susan (1991) *Phrase Structure in Competition: Variation and Change in Old English Word Order*, Doctoral dissertation, University of Pennsylvania. [Published by Garland, New York, 1999.]